

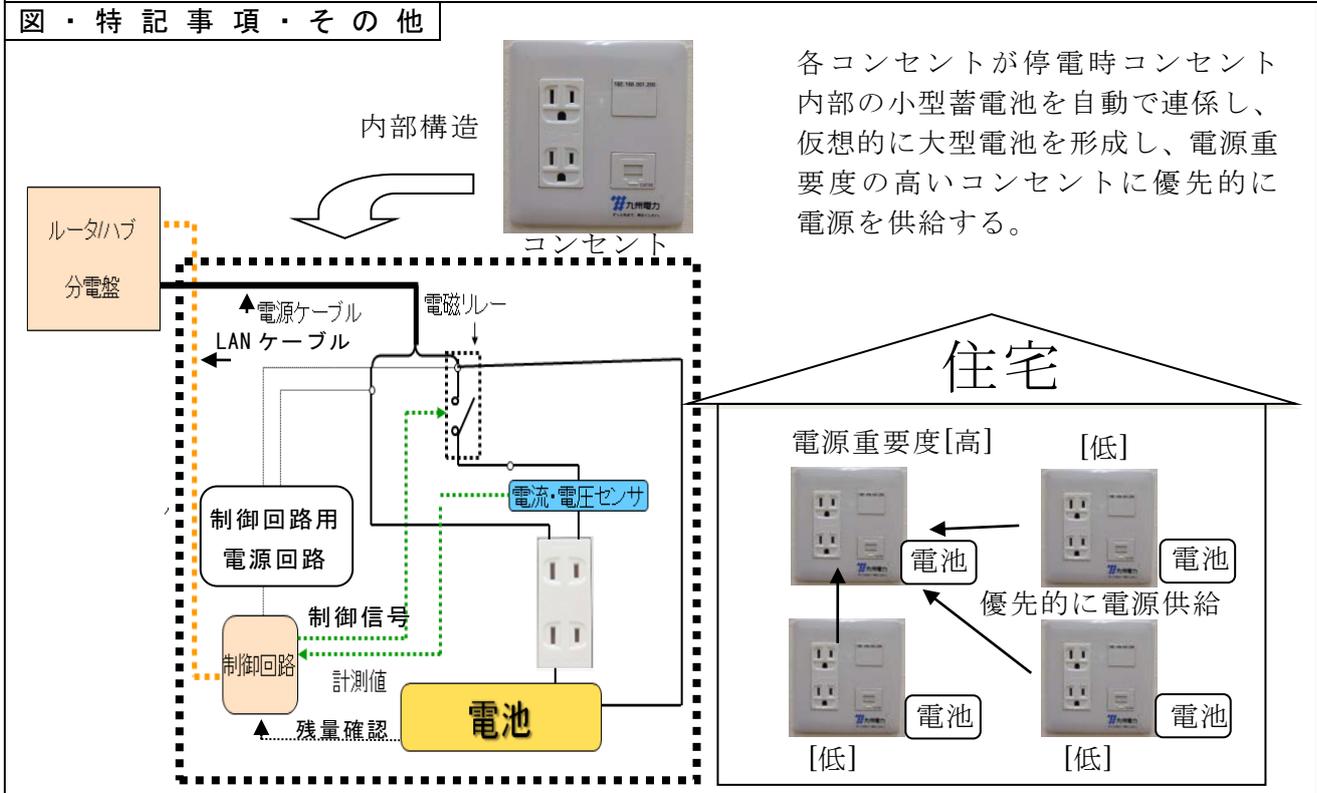
タイトル
電力供給システム (非常用電源として小型蓄電池を内蔵するコンセント)

技術分野 ■電機・電子 <input type="checkbox"/> 情報・通信 <input type="checkbox"/> 有機材料 <input type="checkbox"/> 金属材料 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input type="checkbox"/> 土木・建築 <input type="checkbox"/> 農林・畜水産 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 機械・加工 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> 無機材料 <input type="checkbox"/> 輸送 <input type="checkbox"/> 生活・文化 <input type="checkbox"/> 繊維・紙 <input type="checkbox"/> 医療・介護	利用分野・適用製品 ・家庭用の非常用電源 ・事務所用の非常用電源	情報メモ 詳細資料: <input type="checkbox"/> 有 ■無 サンプル: <input type="checkbox"/> 有 ■無 見学: ■可 <input type="checkbox"/> 不可 その他:
---	---	---

従来技術の課題・問題点
 従来、非常時に家電に電力を供給するバックアップ電源システムは、大型蓄電池が採用されているが、その大型蓄電池に不具合が生じた場合、全停が発生する問題がある。また、コンセントに接続された家電(装置)に一律に電源を供給し、蓄電池消耗を早めるという問題がある。

本発明の効果・特長
 本発明に係るバックアップ電源システムは、大型蓄電池を設けず、各コンセント内に小型蓄電池を内蔵して分散電源とし、その電源をコンセント間で融通し合う。
 また、電源重要度の高いコンセントに優先的に電源を供給し、蓄電池消耗を延長する。

技術概要(構造・動作等)
 非常時に、複数のコンセント内部の小型蓄電池を連結し仮想的に大型の電源を自動で構築する。そして、コンセントに電源重要度という概念を導入し、電源重要度の高いコンセントに優先的に電源を供給する。このことで、電源の一極集中管理による蓄電池不具合に起因する全停を回避し蓄電池消耗の延長を可能とする。さらに、コンセント内部に蓄電池を内蔵したので、瞬時電圧低下回避も可能となる。



主たる提供特許
 登録番号:特許 5386242
 出願日:平成 21 年 6 月 16 日(2009 年)
 発明の名称:電力供給システム
 権利者:九州電力株式会社

関連特許番号